

《担当者名》森 伸幸

【概要】

我々が外部からの情報を捉え（知覚）、それを蓄えたり（記憶）、処理して判断したり（思考）、といった内部のプロセス（認知）について心理学がこれまで明らかにしてきたことを理解し、臨床への応用を考える。

【学修目標】

公認心理師としての基礎的な知識を獲得する。（DP1）

この分野の知見を通して臨床場面への応用を考える。（DP2）

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	感覚・知覚1 心理物理学	心理物理学における基礎的知識（閾値、絶対閾、弁別閾、測定法、など）を学ぶ。	森 伸幸
2	感覚・知覚2 視知覚 (空間認知、運動知覚、色覚)	明るさ、色、運動、遠近感、形といったものが視知覚においてどのように影響するのかを学ぶ。	森 伸幸
3	感覚・知覚3 聴覚	音、言語音声の知覚がどのようになされているのかを学ぶ。	森 伸幸
4	感覚・知覚4 その他の感覚（体性感覚、痛覚、味覚、嗅覚、触覚）	自分の体の動きの感覚（体性感覚）や痛覚、味覚、嗅覚、触覚といった感覚について学ぶ。	森 伸幸
5	感覚・知覚5 多感覚統合、感覚の異常に関する話題、脳機能測定	多感覚統合、知覚の可塑性、失認など感覚の異常、脳機能の測定について学ぶ。	森 伸幸
6	認知1 情報処理モデル、記憶の概説	認知心理学の基礎にある情報処理モデルや、間隔記憶、長期記憶、短期記憶といった記憶の全体的な枠組みを学ぶ。	森 伸幸
7	認知2 作動記憶、注意・意識	作動記憶（ワーキングメモリ）、注意について学ぶ	森 伸幸
8	認知3 潜在記憶、プライミング効果	プライミング効果や偶発学習による潜在記憶について学ぶ。	森 伸幸
9	認知4 忘却、確信度、展望記憶	自伝的記憶、虚偽記憶、展望記憶について学ぶ。	森 伸幸
10	認知5 記憶、認知の障害、メタ認知	記憶、認知の障害、メタ認知について学ぶ。	森 伸幸
11	認知6 問題解決、推論	問題を解決するプロセスや、推論について学ぶ。	森 伸幸
12	思考1 創造的思考、感情的と思考	創造的な思考、感情と思考の関係について学ぶ。	森 伸幸
13	思考2 知能	知能をどのようにとらえるのかについてこれまでの変遷と現在の考え方を学ぶ。	森 伸幸
14	思考3 意思決定	判断し決定するときの心の働きについて学ぶ。	森 伸幸
15	思考4 思考の不調	精神疾患や神経発達症など病理的な思考、および一般的な非機能的な思考について学ぶ。	森 伸幸

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期テスト（0～100点）で評価を行うが、60点に満たない場合、途中で課したレポートにより5点まで加算する。

**【教科書】**

特になし。

**【備考】**

授業形態は対面を原則とするが、状況に応じて遠隔にて行うこともありうる。  
また、課題提出にGlexaを利用する。

**【学修の準備】**

毎回与える知識の確認問題を復習し、知識の定着を図る。所要時間：1～2時間。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

D P 1 (心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している)

D P 2 (社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している)

上記に掲げる心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

**【実務経験】**

公認心理師

**【実務経験を活かした教育内容】**

記憶、思考の病理や認知行動療法の基礎となる知識、知能のとらえ方を講義し、臨床実践の基礎を習得する。